

卒業必修		保育士必修		幼稚園教諭必修		選択	
授業科目名：		教員の免許状／保育士資格		単位数：2単位		担当教員名：藤田和久、原口政明	
教育原理		取得のための必修科目		(半期) 講義		担当形態：クラス分け	
ナンバリング：2106							
科目／系列		教育の基礎的理解に関する科目／保育の本質・目的に関する科目					
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ／教育原理					
授業の到達目標及びテーマ							
1. 教育に興味と関心を持ち、教育の基本概念から教育の意義や目的が理解できる。							
2. 歴史的観点から教育や学校の変遷が理解できる。							
3. 教育者による教育の思想を理解し、子どもと学校・家庭の教育へのかかわりが理解できる。							
授業の概要							
教育とは何か、について教育の歴史や思想において、それらがどのように取り扱われ、幼児教育や学校の役割や営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。このことを踏まえ現代における教育とは何かを考えていく。							
授業計画				授業時間外の学習			
第1回：オリエンテーション、学園訓と教育、教育原理で学ぶこと				(毎回 60～90 分必要)			
第2回：教育とは何か (目的・意義)				テキストと配布資料を必ず読んでおくこと。			
第3回：教育の変遷 (日本：制度・法・人物)				図書館やWeb サイトで配布課題を調べておくこと。			
第4回：教育の変遷 (西洋：制度・法・人物)							
第5回：教育の拡大と充実 (教育制度と歴史)				教育関連の重要条文を覚えるように事後学習をすること。			
第6回：幼児教育機関と小学校の連携 (現代の教育課題)				現代の教育問題を自分なりに取り上げておくこと。			
第7回：望まれる教師と役割 (歴史的教育家)				課題の人物と業績を調べておくこと。			
第8回：幼児教育に期待されること (家庭や社会と学校の連携)				幼児教育の現代的課題を抜き出しておくこと。			
第9回：現代の教育課題 (100年時代の生涯教育他)				子供の成長と発達に合わせた教育についての考えを書き出しておくこと。			
第10回：子供の理解 (成長と発達)				担当部分の相互教授資料を完成させて、プレゼンテーションの準備をしておくこと。			
第11回：教育の実践 (方法・計画など)							
第12回：「教育とは何か」相互教授 A (4名) とフィードバックテスト							
第13回：「教育とは何か」相互教授 B (4名) とフィードバックテスト							
第14回：「教育とは何か」の模造紙作成 (グループワーク)							
第15回：「教育とは何か」の模造紙発表 (グループワーク)							
定期試験：筆記							
授業の方法：講義とグループワーク (相互教授など) を実施し、学生中心の学習活動を主とする。 その中から湧き出た事例を学生同士で話し合い、さらに教師が回答する形式で授業を進める。							
テキスト 『幼児期から児童期への教育』 国立教育政策研究所編、ひかりのくに株式会社発行							
参考書・参考資料等							
幼稚園教育要領 (最新版)、保育所保育指針 (最新版) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (最新版) 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・解説とポイント (最新版) 小学校教職課程学生ハンドブック (東京都教育委員会) 教育小六法 (最新版) (市川 須美子編、学陽書房) 他 関連する書籍などは授業中に提示する。							
学生に対する評価：小テスト (10%)・発表資料 (20%)・レポート (30%)・参画度 (20%)・定期試験 (20%) で総合的に評価する。目標の達成度評価基準はルーブリックで示す。							
履修上の注意：アクティブ・ラーニング形式の授業、学生で作りあげる方式の授業なので、事前事後学習を怠らないことや欠席しないことなど、積極的に授業に臨む姿勢と意欲が重要である。							
実務経験の有無		無		実務経験		原口：元中学校教諭・校長、指導主事	
実務経験を活かした教育内容							
実務経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら授業を行う。							